



平成30年7月15日  
第811号

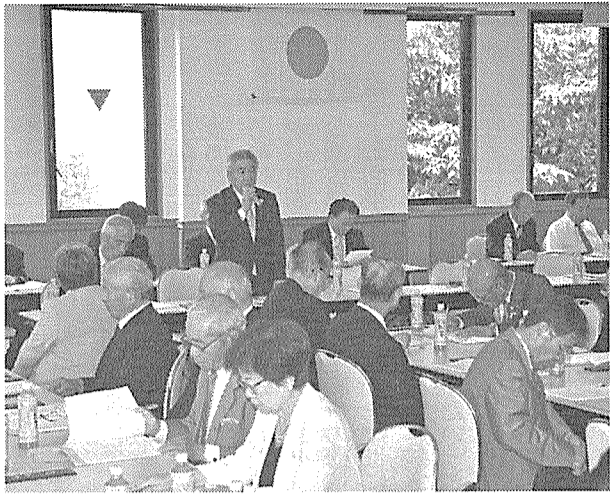
一般財団法人日本遺族会  
〒100-0001 東京都千代田区  
九段南一丁目六番一七号  
千代田会館三階  
電話 03-3261-5521  
振替 00160-6-25389  
編集発行人 畔上和男  
毎月1回15日発行  
定価 1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

# 第八回評議員会を開催

## 理事、評議員の一部改選

日本遺族会は六月十二日、第八回評議員会を靖国会館で開催した。理事及び評議員の一部改選、平成二十九年度決算が審議され、全会一致で承認された。また、五月二十五日開催の第十五回理事会で承認された平成二十九年度事業報告及び収支計算書、平成三十一年度政府予算に対する本会の要望事項の取りまとめ等の指針が報告された。



第8回評議員会で水落敏栄会長に代わり、宇田川剣雄副会長が挨拶 = 6月12日、靖国会館で

午後一時三十分、畔上和男専務理事の進行で第八回評議員会は開会し、靖国会館に鎮まる英霊に

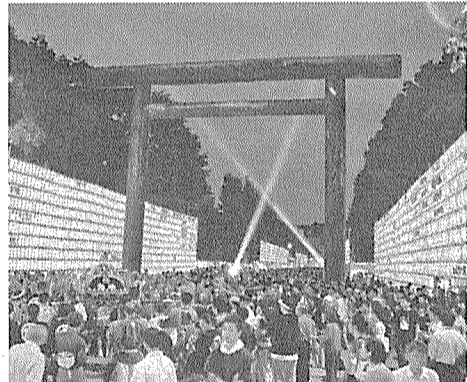
感謝の黙禱を捧げ、水落敏栄会長に代わり宇田川剣雄副会長が挨拶した。次に森田次夫顧問が紹介された後、議長の出発が諮られた。議長には福島県の安齋満氏が選出され、議長から議事録署名人の指名がなされた後、議事に入った。はじめに本会役員の一部改選が諮られ、新理事に大長弥宗治氏(滋賀県)が、新評議員に山川芳志郎氏(滋賀県)がそれぞれ選任された。次に、平成二十九年度の決算が諮られ、監事を

代表して久谷清邦氏が監査の結果を報告し、審議を経て承認された。報告事項では、平成二十九年度事業報告及び収支計算書、公益目的支出計画実施報告書、英霊顕彰運動及び処遇改善運動の経過並びに今後の運動方法、平成三十一年度政府予算に対する本会の要望事項、女性部会則の一部改正、青年部規約の制定、青年部新役員就任後の遺族会を考える特別委員会設置と委員の選任などについて報告がなされた。

本会では、今後の遺族会のあり方が問われていることから、特別委員会を設置して遺族会の抱える諸問題を検討することがすでに決定されている。先の理事会では、特別委員会の構成員を副会長、専務理事、常務理事(女性部長含む)、事務局長協議会から幹事長、青年部から部長の十一人が選任され、さらに、外部有識者として昭和館館長、厚生労働省大臣官房審議官、援護担当の二人をオブザーバーとして迎えることが決まった。今後、特別委員会は今年九月に初会合を開く予定である。

### 支部長交代

- 宮崎・島根で 宮崎 忠氏
- 宮崎県遺族連合会 関谷 忠氏
- (六月二十四日付)
- 鳥根県遺族連合会 山崎 義興氏
- (六月二十六日付)



靖国神社の夏の風物詩  
7.13~7.16  
みたままつり

### 代議員会を開催

#### 政治連盟

日本遺族政治連盟は、六月十二日東京・靖国会館において代議員会を開催した。平成二十九年度の事業実施報告、決算、平成三十一年度予算の第一次補正について審議し、それぞれ了承された。また、次期参議院議員選挙対策等については、平成二十五年と同様に自民党比例区から立候補を予定し公認を得る五人に對して、日本遺族政治連盟として支援することが確認された。

## 日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰(遺骨収集、慰霊友好、慰霊巡拝)、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部(孫・ひ孫)の皆様も是非お申し込みを。  
年間購読料 / 1,560円 (1年間 12回 税金・送料込)  
お申込み 日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521

### 声なき声

関東甲信では6月29日梅雨明けとなった。1951年の統計開始以降最も早く、6月の発表も初めてという。サッカーワールドカップという世界の大舞台で大活躍した日本の選手団、そのサムライジャパンのユニホームにも似た祝福(サムライ)ブルーの青空が一気に広がって夏本番を迎えた。同じく夏空が広がる南の島。先の大戦で米軍に占領された小笠原諸島が、日本に返還されてから50年を迎えた。父島では返還祭が開かれ島民等は日米の間で揺れた歴史を振り返った。戦争中約7700人いた島民の多くが本土に強制疎開させられ、返還までは欧米系の島民しか帰島を許されなかった。「疎開から24年間歴史は寸断されたままだった。先人の苦労と尽力で今の生活がある」と村長は語った。返還祭には約850人が参加し、首飾りや腰みのをつけた地元民による「南洋踊り」が披露され彩りを添えた。輝く輝きにつつまれた、23日の沖縄。炎天下に恒例の平和祈願慰霊大行進から沖縄全戦没者追悼式まで一連の行事が執り行われた。なかでも今年24日台湾出身の日本兵等を追悼する慰霊碑の除幕式に李登輝元総統が出席し、日本側に謝意を示した。李氏は95歳。入院して体調を整え訪日、日台の絆を強くアピールし連携への深い思いを明らかにした。……夏空のように大きく広がる事を願う。(A)

## 慰霊巡拝の旅・国内外のご旅行は、小田急トラベルにご相談下さい

お問い合わせはこちらまで



### 株式会社小田急トラベル

外販営業部 首都圏営業センター  
(観光庁長官登録旅行業365号)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-28-12

TEL: 03-5302-3091

担当: 向井・日沖

(営業時間: 月~金 9:30~18:30 土日祝休み)



- ☆トラック・パラオ諸島
- ☆マリアナ諸島
- ☆東部ニューギニア
- ☆ソロモン諸島
- ☆ホルネオ 他

海外への慰霊巡拝や戦跡めぐりをはじめ国内外のご旅行の際は団体から個人まで弊社でご相談承ります。  
「慰霊巡拝過去の手配実績」

# 沖縄慰霊大行進を実施 平和を願い摩文仁の丘へ

## 終戦73年「慰霊の日」

沖縄は六月二十三日、住民を巻き込み二十三万余の尊い命が失われた地上戦が終結して七十三年目の「慰霊の日」を迎えた。県内各地で戦没者の冥福を祈る慰霊行事が執り行われる中、日本遺族会は沖縄県遺族連合会と共催で第五十七回平和祈願慰霊大行進を実施し、参加者は戦没者の御霊を慰め、世界の恒久平和を祈願し、摩文仁へと行進した。

梅雨が明け、強い日差しの下、午前八時三十分、本会からの参加者遺族六十七人をはじめ県内外から約七百人が、糸満市役所前の南浜公園広場に集り、第五十七回平和祈願大会が開催された。

大戦において散華された多くの戦没者の尊い犠牲の上に築かれている。平和の礎になられた英霊の皆様に対し感謝の念を新たにし、戦争の悲惨さ、平和の尊さを後世に語り継ぐため、引き続きお力添えを賜りたい」と挨拶した。次いで戦没者のひ孫代表による平和アピール(別掲)が採択され、平和祈願大会は終了した。

午後一時、全戦没者追悼式には、安倍晋三内閣総理大臣、衆参両院議長、外務、防衛、厚生労働、沖縄担当の閣僚関係者出席し、県内外の遺族ら約五千百人



水落会長を先頭に摩文仁を目指す行進団 = 6月23日、糸満市

### 追悼のごとば・アピール



沖縄県遺族連合会 会長 宮城篤正

本日ここに、内閣総理大臣はじめ、各界代表の方々とご遺族多数ご参加のもと、沖縄県主催による、「沖縄全戦没者追悼式」が挙行されるにあたり戦没者遺族を代表して謹んで哀悼のごとばを申し上げます。

一九四五年四月一日、米軍は沖縄本島に上陸、日米両軍による地上戦は凄惨を極め、一般住民を巻き込む悲惨な戦況が行われ、当時の人口の約三分の一に相当する二十万人の尊い生命が犠牲になり、甚大な被害を被りました。

終戦から七十三年、いまだに地下に埋没したご遺骨が発見され、公共工事や宅地造成工事現場等では、米軍製艦砲弾の不発弾も発見され、沖縄の戦後は未だに終わっていないのだと実感しております。

私達戦没者遺族は、英霊顕彰と平和運動を推進するため県内各地、全国都道府県から遺族の代表が参集し、南部の激戦地を御霊のご冥福と世界恒久平和を祈願し、「第五十七回平和祈願慰霊大行

進」を実施、只今この追悼式に参列いたしております。沖縄には、未だ広大な米軍基地があり、米軍普天間飛行場の早急なる移設を執望すると同時に戦争につながる新たな基地建設には遺族として断固反対致します。

対し遺族を代表いたしまして心より御礼申し上げますとともに我々遺族の願いは、戦没者への強い思いから県内各地に建立されている四百余りの慰霊塔の現状が、戦後七十三年を経過した今日、老朽化し、悲惨な状況にあることでもあります。

結びに、御霊のご冥福とご臨席の皆様方並びにご遺族の皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げますとともに世界の恒久平和を心から祈念し追悼の言葉といたします。



平和祈願大会で挨拶に立つ水落敏栄 本会会長 = 6月23日、糸満市

平和祈願大会で挨拶に立つ水落敏栄 本会会長 = 6月23日、糸満市

今年のはあついな沖縄戦から七十三年。忌まわしい地獄のような戦争体験が昨日のように脳裏に浮かび万感胸にせまるものがあります。ご英霊の皆様は、祖国の繁栄と平和を願い、家

ひ孫代表 知念遺族会 大城 響

昭和20年6月23日は、沖縄戦が終結した日である。「再びこの世界に戦争遺族をつくるな」を合言葉に悲惨な戦争の事実を子と孫達に語りつぎ平和の尊さを教え、亡き肉親との無言の語り合いの一日として、毎年実施している平和祈願慰霊大行進も今年で第57回目を迎えました。

沖縄県においては、この日に平和の願い、戦没者の鎮魂の日として、祖国復帰以前の立法院決議による「慰霊の日」をあらためて県条例で制定し、県民生活に定着した休日であります。

戦争で肉親を失った遺族は、身をもって戦争の悲惨さを体験し、幾多の苦難な道をあゆんできました。我々遺族は、英霊の尊崇と世界の恒久平和の確立のために、今日まで組織活動を行ってきました。

しかしながら、世界の情勢は我々の悲願とはうらはらに国際間の紛争は絶えず、常に平和がおびやかされているのが実情であります。

我々は、次のおり総力をあげて関係機関に訴えその即時解決を強く要請いたします。



第57回 大行進 平和祈願

- I 世界の恒久平和を目指し、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に伝えること。
  - I 世界に再び戦争をひきおこす一切の行為をやめること。
  - I 戦没者の遺骨を、国の責任において完全収骨すること。
- 以上、アピールする。

### 平成30年度・戦没者遺児による慰霊友好親善事業・実施計画概要

実施地域	実施時期		募集人員	申込締切
	主	訪 問 予 定 地		
1 北ボルネオ・マレー半島	平成30年9月26日(水)～10月5日(金) 9泊10日	20人	平成30年7月26日	
2 マリアナ諸島	平成30年10月10日(水)～10月16日(火) 6泊7日	40人	平成30年8月10日	
3 トラック・パラオ諸島	平成30年10月20日(土)～10月27日(土) 7泊8日	40人	平成30年8月20日	
4 フィリピン(1次)	平成30年11月2日(金)～11月9日(金) 7泊8日	120人	平成30年9月3日	
5 ソロモン諸島	平成30年11月21日(水)～11月28日(水) 7泊8日	20人	平成30年9月21日	
6 ミャンマー・タイ(1次)	平成30年11月27日(火)～12月6日(木) 9泊10日	80人	平成30年9月27日	
7 台湾・パシール海峽	平成31年1月18日(金)～1月24日(木) 6泊7日	30人	平成30年11月16日	
8 マーシャル・ギルバート諸島	平成31年3月9日(土)～3月17日(日) 8泊9日	40人	平成30年11月9日	
9 フィリピン(2次)	平成31年3月13日(水)～3月20日(水) 7泊8日	120人	平成31年1月11日	
10 中 国	平成31年3月22日(金)～3月30日(土) 8泊9日	80人	平成31年1月22日	

上記10地域の他に特定地域として下記3地域を行う予定です。

1 西部ニューギニア	平成31年2月4日(月)～2月13日(水) 9泊10日	36人	平成30年12月4日
2 東部ニューギニア	平成31年2月13日(水)～2月20日(水) 7泊8日	36人	平成30年12月13日
3 ミヤンマー	平成31年2月26日(火)～3月6日(水) 8泊9日	36人	平成30年12月21日

下記地域については、応募状況によって機上選押等を実施する場合があります。  
 ①西部ニューギニア(ワケテ島、ダンケン、トル川、サルミ、ムミ、ヌンホル島)  
 ②東部ニューギニア(ソナム、マルジップ、坂東川、アイタベ、山南方面)  
 ③マーシャル・ギルバート諸島(ルオット、ウオッゼ、マロエラップ、ミレ、ヤルト)

日本遺族会では、平成三十一年度戦没者遺骨収集事業への参加希望者の事前登録を行っている。戦没者の遺児をはじめ、孫、ひ孫、甥、姪等の青年部も広く登録願いたい。申込登録要項は次のとおり。

▼派遣実施予定地域及び期間 30年度遺骨収集実施予定表参照。  
 ※相手国行政機関等との調整、現地治安状況等の理由により事業が変更、中止となる場合がある。

▼参加資格 ①原則年齢制限はなく、身体健康な者で現地の収容作業等に従事できる者 ②各都道府県遺族会の会員である戦没者の遺児、孫

### 事前に登録を願う 遺骨収集参加者募集

No.	地域名	派遣期間
1	トラック諸島	10月14日(日)～10月25日(木)
2	ビスマーク・ソロモン諸島(第1次)	10月24日(水)～11月8日(木)
3	マリアナ諸島	11月6日(火)～11月16日(金)
4	樺太・占守島	11月13日(火)～11月21日(水)
5	パラオ諸島	12月1日(土)～12月13日(木)
6	ギルバート諸島	1月15日(火)～1月30日(水)
7	インド	1月25日(金)～2月8日(金)
8	硫黄島(第4回)	1月29日(火)～2月14日(木)
9	東部ニューギニア	2月13日(水)～2月28日(木)
10	マーシャル諸島	2月24日(日)～3月7日(木)
11	ミャンマー	2月26日(火)～3月14日(木)
12	ビスマーク・ソロモン諸島(第2次)	2月27日(水)～3月14日(木)

### 30年度 遺骨収集実施予定表

募集要項については次頁のとおり。  
 ▼時期及び地域 実施計画概要参照  
 ▼参加費 10万円  
 ▼参加資格 戦没者の遺児。平成二十九年参

加者を除き、複数回の応募が出来る。  
 ▼その他 集合場所は、東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所から

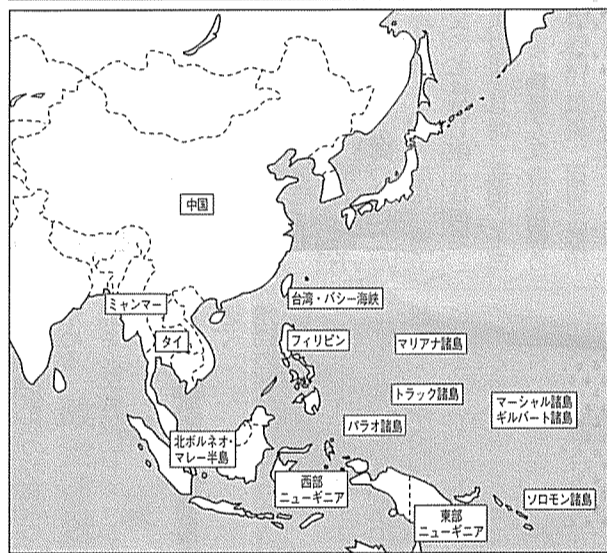
加者を除き、複数回の応募が出来る。  
 ▼その他 集合場所は、東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所まで及び解散場所から

の交通機関は、自身の手配となる。  
 また、移動に係る国内交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手数料等は個人負担となる。  
 ▼申込方法 在住する

各都道府県遺族会事務局へ。  
 参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目の全てに記入を要するの

日本遺族会では、厚生労働省から補助を受けて実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集している。この事業は、戦没者の遺児を対象とした事業で、現地での慰霊追悼や、小学校、病院等を訪問して友好親善をはかることを目的としている。参加費は10万円。

## 好問 友訪 慰親 霊善 遺児の参加者募集 小学校や病院等も訪問



項目に不明な点(戦没者の部隊名等)があれば各遺族会に相談し条件を満たしは選考となる。

また、巡拝地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期または中止となる場合があるため、予めご了承願いたい。

### 本会への 賛助金のお礼

本紙(同面)でもお願

いしている本会への賛助金につきまして、ご賛同いただきました左記の方々に対し、お礼申し上げます。

なお、大変お縮減ではございますが都道府県名については、送金方法により居住地が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。

賛助者名(敬称略)・カタカナ名は銀行振込、漢字名は現金書留等)

迫田清美、坂下照之、吉川愛子、中山宏、田野岡邦子、石田義久、林敏弘、石川富子、森山キヨ

子(以上、六月一日から六月末日まで) 各種慰霊事業などの活動費用に利用させていただきます。誠にありがとうございました。

日本遺族会への賛助金のお礼  
 日本遺族会では、戦没者の英霊顕彰や遺族支援、慰霊友好親善事業、遺骨収集推進等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。

郵便振替 0013002694929  
 ※口座名は「一般財団法人日本遺族会」にて「二ホニシヨカイ」

みずほ銀行 九段支店 普通預金 06800630

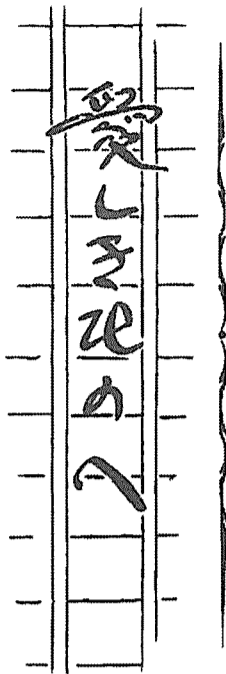
本会事業参加者の皆様へ  
 本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

# 沖縄戦跡慰霊巡拝

## 関係遺族の参加者募集

日本遺族会は、本会主催の沖縄戦跡慰霊巡拝の実施を予定している。この戦跡慰霊巡拝は、太平洋戦争末期、住民を巻き込んだ激しい地上戦となり、多くの尊い命が失われた沖縄を巡り、戦没者の冥福を祈念するものである。沖縄で肉親を亡くされた戦没者の遺族であればどなたでも参加できるので、この機会に参加をお勧めする。

募集要項は次のとおり。  
 ※参加者は、本会が指定した沖縄のホテルに集合し、事業終了後、沖縄で解散となる。  
 ▼実施時期 十月二十三日(火)～十月二十七日(土)の四泊五日を予定  
 ※参加資格 沖縄及び周辺海域で肉親を亡くされた戦没者の遺族(妻、兄弟・姉妹、遺児、孫、兄弟・姉妹の甥・姪等)  
 ※参加費用 7万円(8万円程度)  
 ※参加人数により費用は異なる。また、集合場所の沖縄までの往復交通費等は別途個人負担となる。



### 遺書

昭和十八年十一月二十一日  
 中華民國安徽省にて戦死  
 東京都本所区小梅出身 二十二歳  
 陸軍兵長 小川 平吉 命

人生僅か二十年、時の流れの激しさに、  
 吾は思はず涙出る。  
 あ、然れども日本人なるぞ。  
 吾は国の為、家の為、社会の為に盡す。  
 吾が尊き人間を捧ぐる秋。  
 吾が日の本の孫の子等が喜び勇む  
 生活に、幸福なる姿、目に浮かぶ。  
 あ、吾は逝く、尊き犠牲の一人として  
 悠久の大義に生きん。

【平成三十年七月靖国神社頭掲示】  
 愛しき花の

### 本会主催

れた戦没者の遺族(妻、遺児、孫、兄弟・姉妹、甥・姪等)  
 ※参加人数により費用は異なる。また、集合場所の沖縄までの往復交通費等は別途個人負担となる。



沖縄慰霊巡拝実施地図



「後ろ髪引かれる思い」泣く我に想い遺せり父の手紙は  
 豪雪にもめげず桜は満開に杉は元気に花粉を飛ばす  
 戦死せし父を偲び亡母たちの建立せる碑の前にたたずむ  
 残留死の身元特定の新聞に父の名は無し眠るは何処  
 はるかなる五歳の記憶さぬより抱きし父の骨箱軽ろし  
 空蒼くかく澄める日は聞こえぬか父の口笛「戦友」の歌  
 父思ふ心はるかに島国の椰子の葉影に光る白波

選者 安元 百合子  
 玉名市 桑野 睦子  
 富山県 酒井 映子  
 小諸市 塩川 篤子  
 大阪府 高岡 千鶴  
 青森県 田中 恭子  
 鳥栖市 松尾美津子  
 松原市 祐野 健二



「西原の塔」でご英霊の冥福を祈る  
 =平成28年11月、沖縄中部地区の翁長で

▼申込締切 八月三十一日(金)  
 ▼申込方法 申込は在住する各都道府県遺族会の事務局へ。  
 ※申込書の記入にあたり、戦没者の所属部隊名など未確認の場合は、各都道府県庁で事前に確認が必要となる。  
 ※参加人数が募集人数は、中止となるので、予めご了承願いたい。



各都道府県遺族会で、実施された大会、研修会等は次のとおり。  
 ▼徳島県 6月1日、3日 プロック別研修会  
 南部プロック(160人)  
 東部プロック(110人)  
 西部プロック(140人)

## 愛知県で日章旗返還

### OBONソサエティ

戦没者の遺品の返還運動を推進しているOBONソサエティから本会に照会があった。沖縄で戦死した本田萬作さんの日章旗について、愛知県遺族連合会へ遺族の捜索を依頼していたところ、本田さんが安城市出身であることが分かり、遺族の所在も判明した。

マサチューセッツ州在住の米国人のウィルソンさんが元米兵の父親から譲り受け保管していたが、OBONソサエティの活動を知り、遺族への返還を希望していた。生前に父親も日章旗の返還を模索していたが叶わぬまま他界したため、今回の返還に際し、「父の長年の願いでもあった日章旗の



日章旗を受け取った本田紘さん(左)と神谷学・安城市長  
 =5月14日、安城市役所で

ご遺族が判明し心から嬉しく思います。本田家のご親族皆様にとって旗の返還が心の終止符となります。どうぞ願っております。」とウィルソンさんから遺族あてにメッセージが添えられた。

五月十四日、安城市役所で返還式が行われ、神谷学市長から本田さんの兄の長男である紘さんへ日章旗が引き渡された。紘さんは、「こんなに長い時を経て帰ってくるとは思わなかった。うれしい限りです」と話した。

### お詫び

本紙6月(第810号)発行の1面「理事會」の記事で改正案では、「戦没者の妻等」を以って組織するの表記で誤りがありました。正しくは「戦没者遺児の妻等」になります。ここに訂正して深謝いたします。